## 調学查校 適正: 特別 委員へ 化 員置

小中一貫校等も視野に入れた魅力れる課題について意見が出され、の現状や問題点、将来的に懸念さは、各学校区における児童生徒数 後の活動について検討しました。12月5日特別委員会を開催し、今 てサポート関連事業を更に充実さ 町が進めている、境町への移住・ の特色ある活動の維持、 ある学校づくりや、 出されました。 定住促進についての施策や、 TA連絡協議会 会長の出席を求 中学校のPTA会長並びに境町P その中での発言や内容を踏まえ、 11月18日に行った意見交換会で 人口の増加を切望する意見が 意見交換会を開催しました。 各学校や地域 また現在 11

とで決定をいたしました。

学校適正化配置調査特別委員会の活動

また、年々活動が難しくなってき

運動会等の学校行事の少規模化、 数学校ならではの利点がある反面、

目が全児童に行き届くなど、少人

学校の規模については、

教員の

な観点から意見が出されました。 ている部活動についてなど、様々

各地区代表区長からも、猿島小

分校を

## 目的

月

日

統廃合した歴史を踏まえ、 学校や静小学校における、

児童・生徒数及び学校運営経費等について 現状調査を行なうとともに、少子化にともな う将来的な学校の適正化を検討することを目 的とする。

予定としては、月1回程度の委員会を開催 また、先進地事例地への研修・視察を行う。

動

内

容

活

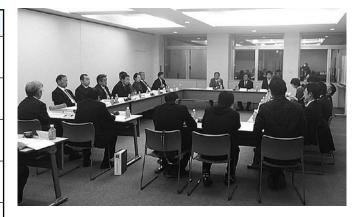
できるよう引き続き検討し、3月ちがより良い教育環境で学び成長置を検討する中で、将来の子供た集約し、多角的に学校の適正化配集の資関係者の意見や要望を十分に とが必要であるとの見解で一 され、今後、学校の適正化配置をての問題点など、多くの意見が出た少子化に対する国の政策につい の保護者や地域住民の方々、 ておりました。 域性を勘案し、 考えるにあたり、 当委員会では、 方々の意見を十分に集約するこ 保護者や地域住民 学校の 町に提言するこ 今後も児童生徒 歴史や地 また

平成28年 3月8日	学校適正化配置調査特別委員会 設置
3月10日	委員長、副委員長の選任 今後の予定について
3月17日	学校教育課長による現状に ついて
4月22日	先進地視察研修会実施計画に ついて
6月9日	近隣市町の統廃合状況について
7月14日	教育長との意見交換会 視察研修について
8月29日~ 30日	先進地事例地への視察研修 (栃木県那須町教育委員会、 鉾田町教育委員会)
9月8日	視察研修会実施後の意見交換会 及び今後の予定について
11月18日	PTA及び地域の代表者との意見

交換会

後の予定について

意見交換会実施後の考察及び今



意見交換会



鉾田市教育委員会

12月5日